

AML 初発・進行期 AML 201 Consolidation 3

患者ID: @PATIENTID

1 コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 14日

目標: 1コース

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

使用薬剤: アクリルビシン (ACR) : アクリルビシン注 20mg/V

シタラビン (Ara-C) : シタラビン注 20mg/A/1mL, 200mg/A/10mL

※ HbC抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

※ 十分に骨髄機能が回復した後に施行する。(好中球1,500 μ L、白血球3,000 μ L以上、かつ血小板10万/ μ L以上が望ましい。)

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
アクリルビシン	20 mg/m ²	#VALUE!		1~5
シタラビン	200 mg/m ²	#VALUE!		1~5

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1): 1月1日 (金) ~ 1月5日 (火)

0時00分	①	生理食塩液 50mL 15分で点滴静注	+	ケラニトロン 1 A	
0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	+	アクリルビシン注	0mg
0時45分	③	生理食塩液 50mL フラッシュ			
1時00分	④	生理食塩液 500mL 24時間で点滴静注	+	シタラビン注	0mg 0.0ml

Day 6 1月6日 (水)

1時00分	①	生理食塩液 50mL フラッシュ
-------	---	---------------------

REFERENCE

Shuichi Miyawaki, Shigeki Ohtake, Shin Fujisawa et al BLOOD 2011; 117: 2366-2372
A randomized comparison of 4 courses of standard-dose multiagent chemotherapy versus 3 courses of high-dose cytarabine alone in postremission therapy for acute myeloid leukemia in adults: the JALSG AML201 Study
2011年7月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2011年7月11日 更新: 2016年2月8日